

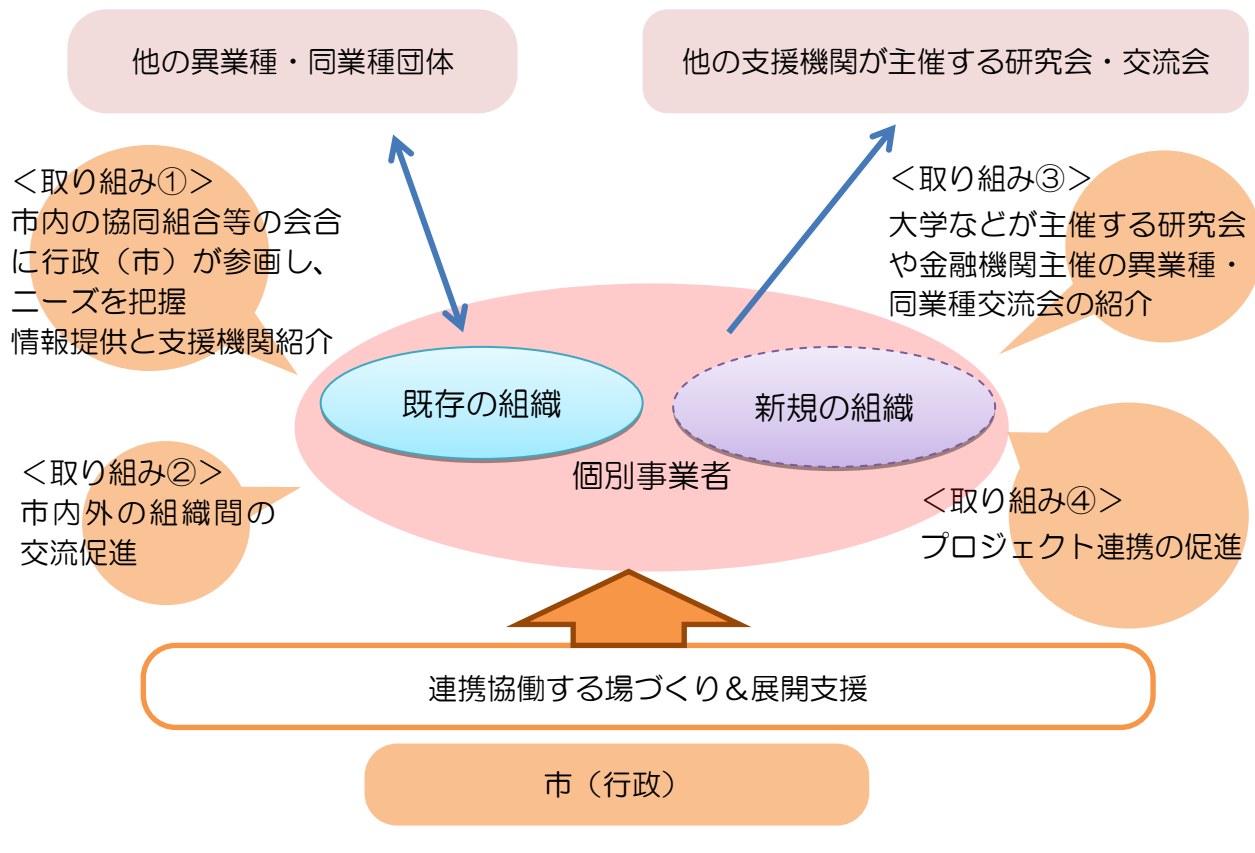
基本方針 1

連携・協働する場づくりと展開支援

【背景と目的】

- ・これまで、市内では異業種交流会議、ちきり会（岸和田商工会議所主催）などのグループ活動が展開されてきた。
- ・また、市内には大阪鉄工金属団地協同組合や岸和田工業センター協同組合、各商店街、農協、漁協などの既存団体が長年にわたって組合活動を行ってきた。
- ・異業種や同業種とのネットワークを広げることは、事業者にとって、新たな事業展開（製品・商品開発や技術開発、販路開拓等）につなげることのできる機会であり、市（行政）は、創造的な事業機会を生み出すことを目的として「連携・協働する場づくりと展開支援」に取り組む。

【取り組みのイメージ】



【第3回委員会での意見・留意点】

- ・異業種交流会を市がゼロから行なうのは難しい。銀行が得意とするところなので、そこに市が入っていくとよい。
⇒ **【異業種交流を得意とする支援機関と連携すること】**
- ・産業活性化推進委員会も各会の代表者が集まっているので、委員会の場を通じて色々なことができると思う。
- ・組合等組織の代表になると、様々な会合に出席する機会が多くなる。そのような機会でも事務局が出席者を紹介すれば、有意義な場となる。
⇒ **【行政が主催者となる交流会では行政が紹介役となること】**
- ・商談をすることが異業種交流会の目的であるなど交流の目的を明らかにしておく必要がある。例えば、当行が主催する異業種交流会では、参加企業の冊子を作り、面会を希望する会社に対して行員が懇親会の中でマッチングを行う。
⇒ **【連携協働する場づくりには目的を明確にすること】**